

講義名	国際経営論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	今西 珠美		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	53054

主題と概要

大企業だけでなく、中小企業も海外に進出するようになった。国境を超え、複数の国々で事業を展開したり、外国企業と共同で事業を行ったりする企業は増えている。このような多国籍企業の理論・歴史・経営を総合的に学ぶ。多国籍企業についての基本知識、主要理論を、事例を交えて理解する。

到達目標

多国籍企業について理解する。一国内で活動する企業と複数の国々で活動する企業の違いを知り、グローバルに展開する企業の国際経営について理解する。

提出課題

レポート提出・小テストを実施する際には、授業中に課題を提示する。

評価の基準

定期試験(90%)、授業態度など(10%)を予定。
出欠はとらない。学習成果を評価する。

履修にあたっての注意・助言他

人間社会学部生を受講対象とする。他学部生は所属学部開講分を履修して下さい。
受講態度は成績評価に影響する。例えば、授業中のスマートフォン、音楽プレイヤー、ゲーム機等の使用、私語や睡眠の継続は、教員が直接注意をしなかったとしても、上記「評価の基準」に示す比率とは無関係に単位修得に重大な影響が及ぶ。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

<資料>
授業時に次回授業で使用する資料を配布する。当日使用分の当日配布は行わない。
<参考文献>
浅川和宏『グローバル経営入門』日本経済新聞社、2003年。
中川功一・林正・多田和美・大木清弘『はじめての国際経営』有斐閣(有斐閣スタジオ)、2015年。
大石芳裕『実践的グローバル・マーケティング』ミネルヴァ書房、2017年。
吉原英樹『国際経営〔第4版〕』有斐閣(有斐閣アルマ)、2015年。

授業計画

1. 国際経営論へのアプローチ
2. 国際経営とは(1)
3. 国際経営とは(2)
4. 国際経営の歴史
5. 国際経営の理論
6. 国際マーケティング(1)
7. 国際マーケティング(2)
8. 海外生産(1)
9. 海外生産(2)
10. 国際研究開発
11. 国際人的資源管理
12. 国際経営組織
13. 国際戦略提携(1)
14. 国際戦略提携(2)
15. 国際経営の未来

予習・復習

<予習>
授業で配布する資料や参考書を読み、授業にのぞんで下さい。
<復習>
授業冒頭で提示するキーワードの内容確認、ならびにそれらの関連性を考えることによって学習内容の理解を一層深めて下さい。

備考

繰り返しになるが、人間社会学部生を受講対象とする。他学部生は所属学部の開講時間割にて履修のこと。
また授業出席にあたり、前回授業で配布した資料を読んでおくこと。当日使用する資料の当日配布は行わないので注意。